

日本学術会議ロボット学分科会シンポジウム
「ロボット学の未来にむけて」

趣 旨：

誕生以来約40年、日本では主に機械工学の分野で、欧米では主に計算機科学や電気工学の分野で成長してきたロボットは、未来社会の中で人間と共存し人々の暮らしを支える生活パートナー的な存在へ進化し、新しい産業の創成に資することが期待されるようになった。それと共に、ロボットに関する学術は、従来の理工学の枠を超えて、脳科学、人間科学、社会科学を含む幅広い総合科学として発展していくことが必要となった。

本シンポジウムでは、このような状況にかんがみ、機械工学、情報工学、電子工学、総合工学などの関連分野との連携のもとに、人間、社会、文化まで視野を広げて、分野横断的な総合科学としてのロボット学の諸様相について幅広く議論し、その学術的枠組、解決すべき問題、社会および産業にたいする貢献と役割について整理し、今後の発展方向をまとめる。

日 時：2010年8月2日（月） 11時開演

場 所：東京大学本郷キャンパス 小柴ホール

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_25_j.html

入場料：無料

参加申し込み：メールにて、ご氏名、ご所属、メールアドレス、電話番号を
naruke@ics.t.u-tokyo.ac.jp; tomomasasato@jcom.home.ne.jp
まで、送付ください。定員オーバーの場合のみ、返信いたします。

プログラム

開 会 11：00

<第1部「ロボット学の未来」>

1. 「ロボット学の進化と未来」 11:05-11:30

國吉康夫（日本学術会議連携会員，東京大学教授）

2. 「宇宙ロボットの可能性」 11:30-11:55

毛利 衛（日本学術会議第三部会員，日本科学未来館長）

昼休み 12:00--13:00

<第2部「ロボット学の新たなフロンティア」>

1. 「全人間シミュレーション」 13:00-13:25
中村仁彦（東京大学教授）
2. 「脳科学とロボット学の将来」 13:25-13:50
入来篤史（日本学術会議連携会員，理化学研究所脳科学総合研究センター）
3. 「工学としてのロボット学の進むべき道」 13:50-14:15
金子 真（日本学術会議連携会員，大阪大学教授）
4. 「ロボットで生まれる未来の芸術」 14:15-14:40
藤幡正樹（東京芸術大学教授）

休 憩 14:40-15:00

<第3部 パネル討論「ロボット未来研究所のイメージ」> 15:00-16:30

司会：佐藤知正（日本学術会議連携会員，東京大学教授）

自由討論：

討論：井上博允，中村仁彦，入来篤史，金子 真，藤幡正樹，國吉康夫
[フロアより，ロボット学分科会委員が議論に参加]

提案：「ロボット研究の方向と体制」

井上 博允（日本学術会議連携会員，東京大学名誉教授）

閉 会 16:30

以上